



すずかけ

令和6年12月24日

第13号

校長 鎌田 史顯

令和6年度大郷地区 民生委員・児童委員情報交換会

12月18日（水）に今年度の「大郷地区民生委員・児童委員情報交換会」を実施いたしました。お忙しい中、各地区の委員の皆様にご参加いただきました。授業を観ていただき、貴重なご意見をいただくことができました。一年に一度の開催ですので、校長からは「今年度の学校の取り組みと子供たちの活動の様子」について説明させていただきました。



皆さまからいただいたご意見をご紹介します。本当にありがとうございました。
（一部略させていただいたり、まとめさせていただいたりしておりますことをご了承ください）

- ◇大郷小の規模の学校であればこそ「一人一人を大切にした教育」に期待したい。
- ◇広い学区であり、長い距離を通学する子供たちへの安全面等の配慮を欠かさずにして欲しい。
- ◇元気に返事ができる子供たちがすばらしい。
- ◇多くの学年でタブレットを使用しての「新しい教育」に取り組んでおり、一年生でも使っていることには驚いた。
- ◇6年生が東京に修学旅行に行ったこと、バスではなく、「自分たちで移動したこと」にびっくりしたが、貴重な経験ができたと考える。
- ◇「自主性を大切にする取り組み」がしっかりと行われれば、新聞等で報道されていた「人助けで表彰された子供」に近づくのではないかな。
- ◇子供たちのあいさつがとても良い。しかし、一人一人ではできても、登校班のように集団になると声が出なくなるところがもったいない。
- ◇個性を伸ばす時代であり、個々の子供の良さを伸ばす教育に期待したい。
- ◇地区の行事等に積極的に参加させたいし、地域との関わりをさらに強化すべきである。
- ◇子供たちにとって、世の中も目まぐるしく変化する時代であり、価値観も多様化しているのだから、大人もそれを理解し、決めつけや偏見でなく本質を見ることが大切である。
- ◇「心を育てる」ことが今本当に必要なことである。
- ◇授業に集中して取り組む姿がどの学級にもあった。
- ◇これまで参観した授業と全く違う印象を受けた。学習の様子が格段にすばらしい。

大きな成長の2学期、これからもっと!もっと!

12月24日(火)に2学期終業式を迎えます。今年も猛暑が続いた夏、8月30日(金)からの長い2学期が終わり、すっかり山形の冬らしく寒く厳しい時期となりました。子供たちは暑い中も、雨の中も、風の強い日でも、雪の降る時も、毎日歩いて通学し続けました。ようやく学校について「着いたあ」とため息をつく子供がいます。昇降口で座り込み、すぐには動けずにひと休みしてから教室に向かう子供もいます。使った傘を片付けるのに苦労したり、濡れた髪の毛をハンカチやティッシュで拭いたり、「濡れたから気持ち悪い」と靴下を脱いだりする姿もあります。「今日もがんばって登校できたね」「今日も一日がんばろう」と声をかけながら、「学校に来て良かった!」「今日も楽しかった!」「明日も楽しみ!」と思える学校にしなければと、身の引き締まる思いになります。



年末年始休業のポイント3つ

- ①毎日、決めた時間に自分で起きる
- ②自分と仲間のいのちを守る行動をする
- ③家族の一員として、年末の掃除や年始の行事にすすんで参加する

終業式の校長式辞のスライドより

2学期は毎日の学習はもちろん、全校たて割り宿泊学習・被爆ピアノコンサート・6年修学旅行・長距離走記録会・創立記念式・大郷っ子発表会・見守り隊感謝の会・ラフランス贈呈式・6年バイキング給食・各学年の社会科見学・講師の先生をお招きしての学習など、学ぶ機会が本当に多く、素晴らしい体験や学習ができました。子供たちの真剣な目、生き活きとした表情、笑顔がたくさん見ることができました。

2学期始業式で校長から『2学期の期待すること』として4点「①全力で、精一杯がんばる」「②仲間といっしょに笑顔で活動する」「③できた・わかった・もっとしたいの意欲いっぱい」の姿で取り組む」「④努力が成果につながり、自分の成長を実感する」をお話しました。2学期の締めくくりの今、自分の2学期を振り返り、「何ができるようになったか」という成長を確かめると共に、「もっとできたことはないか」「これからやることは何か」をしっかりと把握し、新年に向けて、成長するためのポイントを見つけて欲しいと思います。

新年、令和7年の干支は「巳」です。へびは古代から「皮を脱ぎ捨て、新たな姿に生まれ変わる姿」から、「再生」や「永遠」の象徴とされてきました。こうした意味から、『巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す』と言われておりますので、『今の自分から脱皮し、新たな自分への挑戦』の年なのです。ぜひ、「もっとできる!」「きっとできる!」と前向きな気持ちで新年を迎え、大郷小みんなが大きく飛躍できる一年にしましょう!

次年度の教育課程について

現在、次年度の教育課程についての検討を進めています。学校評価アンケートでも関係する設問をさせていただき、保護者の皆様にご回答いただいております。本当にありがとうございます。

次年度に向けて検討していることで、事前にお知らせし、ご理解いただきたいことが3件あります。①全校たて割り宿泊学習…とても有意義な学習活動ではありますが、個々の児童への負担があまり大きく、服薬・アレルギー・トイレへの対応が十分にできない。②モジュールを取り入れた日課…朝の15分、5時間目の45分+15分をさらに効果的な授業にすべきである。③登校時間(7:50~8:00)と教員の勤務開始時間(8:15)…登校時間が先生方の勤務開始時刻前に設定されており、児童の登校時間と出勤時刻との間に空白の時間ができないように設定し、登校を見守ったり、教室で待ったりするなどの対応をすべきである。

この3件については、今後も検討過程や方向性について、随時お知らせいたしますので、ご理解とご協力いただけますようお願いいたします。